

# 2019年度 法科大学院

## 第2期末修者

## 入学試験問題

## (小論文方式)

### 試験時間 60分

#### 注意事項

- (1)試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2)この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3)試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4)解答は必ず解答用紙に記入してください。下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (5)参照は不可となっています。
- (6)解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (7)試験問題の内容等について質問することはできません。
- (8)問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (9)試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

## [小論文]

次の文章を読んで、それに続く問に答えなさい。

午後遅くに始まった会議がようやく終わり、新之助は霞が関から帰路に就いた。予想通りその時間の地下鉄の混み具合はひどいもので、周りの人々に身体を支えてもらっている有り様だった。隣りに長身の人物が立っていて、その向こうにもう一人入れる隙間があるように見えたが、車両が揺れた瞬間にそうではないことが判明した。荷物を腕に通した老婆が両手で必死に吊革にしがみ付いているのだった。誰か席を譲ってあげればいいのにと思いながら、新之助は空いた吊革に手をかけて目を閉じた。しばらくして「何をするんだ」という怒声が近くで上がったが、それっきりだったので、顔を向ける気にもならなかった。還暦を過ぎて3年。大学教員の世界ではまだ働き盛りだが、満員電車はやはり疲れる。

車内放送で乗換駅が近いことを知って目を開けると、隣りに立っているのは、青ジャンパー姿のがっちりした男性だった。例の長身の人物はその隣りに移動している。いつの間に青ジャンパー氏が割り込んだのか訝しく思っていると、向こうの方から声をかけてきた。「誰もかれもこれなんですよ」と指差す方向には、ひたすらスマホを繰る人たちの顔があった。その言葉で新之助は、この間の事情を察した。この人はお婆さんに席を譲ったのだ。この混み様だから、その際に誰かにぶつかったに違いない。ぶつかられた方は、青ジャンパー氏が故意に自分を押ししたと思って怒声を上げたのだろう。

青ジャンパー氏の風体は、どう見ても霞が関の官庁街で働く人のそれではなかった。どこかの市場で大声をあげて魚を売っている姿が似つかわしい。新之助が想像を巡らしていると、彼は先ほどの周囲の態度によほど腹が据えかねたのか、それとも新之助のことを話し易い人物と見込んだのか、「今の社会はどうなってしまったんでしょう。これでよいのでしょうか」となおも話しかけるのだった。彼の朴訥な話し振りに好感を覚えた新之助は、体勢をドアの方に向けながら小声で応じた。「いや、よくないと思います。これのせいで人がすっかり切り離されてしまいましたね(1)。」青ジャンパー氏は満足げに頷いて手を振った。

幸いなことに、乗り換えた電車には空席があった。鞆を抱きかかえ目を閉じた新之助の脳裡には、今朝のバスの情景が浮かんでいた。自分だって年輩の人を前にして座って本を読んでいたじゃないか・・・さっそく反省する新之助であったが、他方で、言い訳(2)をしたい気持ちを抑えることもできないのだった・・・俺は法科大学院の教員。一限に講義が入っていなければ、朝はゆっくりできる。時差出勤の世の中だと言っても、家を出る頃はもう黒いスーツ姿は疎らだ。なのに、バスは満席。これからの日本社会はどうなるのだろう。

問1 下線部(1)の新之助の発言はどのようなことを意味しているのだろうか。あなたの理解するところを 800 字程度でまとめなさい。

問2 下線部(2)の「言い訳」はどのような言い訳なのだろうか、あなたの考えを 200 字程度でまとめなさい。